

平成24年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月28日

上場取引所 大

上場会社名 ウチダエスコ株式会社

コード番号 4699 URL <http://www.esco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武井 均

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 久保 博幸

TEL 047-382-4141

四半期報告書提出予定日 平成24年3月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年7月期第2四半期の連結業績(平成23年7月21日～平成24年1月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年7月期第2四半期	5,969	9.9	308	△5.6	313	△6.4	141	△25.8
23年7月期第2四半期	5,429	△4.0	326	6.4	335	7.5	190	3.9

(注) 包括利益 24年7月期第2四半期 139百万円 (△25.8%) 23年7月期第2四半期 188百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年7月期第2四半期	39.24	—
23年7月期第2四半期	52.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年7月期第2四半期	7,698	2,896	37.6
23年7月期	7,778	2,810	36.1

(参考) 自己資本 24年7月期第2四半期 2,896百万円 23年7月期 2,810百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年7月期	—	0.00	—	15.00	15.00
24年7月期	—	0.00	—	—	—
24年7月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年7月期の連結業績予想(平成23年7月21日～平成24年7月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	11,800	5.5	640	△6.6	650	△7.3	320	△20.2	88.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年7月期2Q	3,600,000 株	23年7月期	3,600,000 株
② 期末自己株式数	24年7月期2Q	3,473 株	23年7月期	3,473 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年7月期2Q	3,596,527 株	23年7月期2Q	3,596,527 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2.	サマリー情報（その他）に関する事項	5
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3.	継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4.	四半期連結財務諸表	6
	(1) 四半期連結貸借対照表	6
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
	四半期連結損益計算書	8
	四半期連結包括利益計算書	9
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
	(4) 継続企業の前提に関する注記	11
	(5) セグメント情報等	11
	(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年7月21日～平成24年1月20日）におけるわが国経済は、東日本大震災により寸断したサプライチェーンの復旧に伴い生産が持ち直し、回復基調で推移しましたが、秋口以降、欧州の財政危機、円高の長期化、タイの大洪水等の影響を受けて輸出が減速するなど、景気は弱含みました。

このような環境下、当連結グループは第8次中期経営計画（平成22年8月～平成25年7月）2年次にあたる当連結会計年度の基本方針を

- 1) サービスメニューの拡充、営業力の強化による「売上高の拡大」、
- 2) クラウドコンピューティング基盤技術などの「技術シフトの加速」、
- 3) 仮想化案件の拡大のための「新分野パートナーの開拓」、
- 4) 社員のスキルの見える化や階層別教育の実施などの「人材育成の推進」とし、その実現に向け取り組みました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、主力のフィールドサポート事業をはじめ各事業において営業活動を強化し、売上拡大に取り組んだ結果、売上高は59億6千9百万円（前年同四半期比9.9%増）となりました。

一方、損益面では、フィールドサポート事業においては生産性の向上、効率化の進展等のローコスト体制が利益増に寄与、また、オフィスシステム事業においても間接販売に比較し利益率の高い直接販売の売上増により利益を押し上げましたが、ソフトウェアサポート事業において一部のプロジェクトでサポートコストが増加したため、営業利益は3億8百万円（前年同四半期比5.6%減）、経常利益は3億1千3百万円（同6.4%減）となりました。また、四半期純利益は、改正法人税法による繰延税金資産の一部取り崩し等の影響もあり、1億4千1百万円（同25.8%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における事業別概況は次のとおりであります。

(フィールドサポート事業)

営業の強化、生産性の更なる向上、外注制度の整備等により、量の拡大を目指すとともにC E（カスタマーエンジニア）のS E技術シフトならびにクラウドコンピューティングに対応する仮想化技術の取得に取り組みました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、中核の学校市場向けICT事業において大型案件の受注が寄与するとともに、民需市場においてもメーカーからの修理受注件数が増加、また、サーバー仮想化案件の取扱いが増加した結果、売上高は35億3千2百万円（前年同四半期比9.1%増）、営業利益は3億3千1百万円（同14.3%増）と増収増益となりました。

(オフィスシステム事業)

直接販売顧客や販売パートナーなどの開拓強化、Webビジネスの拡充、トータルオフィスソリューションの提供に取り組みました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、オフィス移転に伴うオフィス用品等の売上が増加、また、OAサプライ用品についても通販会社開拓による売上や既存大口顧客への売上増が寄与した結果、売上高は16億9千1百万円（前年同四半期比8.5%増）、営業利益は3千万円（同108.0%増）となりました。

(ソフトウェアサポート事業)

ソフトウェア保守やBPOサービスなどのストックビジネスの強化、新サービスの提供並びにプロジェクトマネジメントの強化によるサポート品質向上、採算管理の徹底を施策に掲げ、取り組みました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、地方自治体向けの基幹系システム、福祉系システムのサポートをはじめとして、売上は堅調に推移しましたが、学校及び地方自治体向けサポートにおける外注費等のコストが増加した結果、売上高は7億4千5百万円（前年同四半期比17.8%増）、営業損失5千3百万円（前年同四半期は営業利益2千1百万円）となりました。今後につきましては、プロジェクト管理、品質管理を強化するとともに採算管理の徹底を図り、収益改善に努めてまいります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、76億9千8百万円と前連結会計年度末比8千万円減少しました。これは流動資産が、売掛金の増加(2億5千1百万円)等はありませんでしたが、現預金の減少(2億3千2百万円)、前渡金の減少(4千5百万円)、受取手形の減少(2千3百万円)等により3千6百万円減少し、固定資産が、繰延税金資産の減少(3千1百万円)等により4千4百万円減少したことによります。流動負債は、前受金の減少(7千3百万円)、賞与引当金の減少(4千2百万円)、未払金の減少(4千2百万円)等により前連結会計年度末比1億8千5百万円減少し、固定負債は、退職給付引当金の増加(1千7百万円)等により1千9百万円増加しました。純資産は、28億9千6百万円と前連結会計年度末比8千5百万円増加しました。なお、自己資本比率は、37.6%と前連結会計年度末比1.5ポイント上昇しております。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末比2億3千2百万円減少し、26億6百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は、1億2千2百万円(前年同四半期は4億7千2百万円の増加)となりました。これは税金等調整前四半期純利益(3億1千3百万円)、減価償却費(5千4百万円)等により資金の増加はありませんでしたが、売上債権の増加(2億2千7百万円)、法人税等の支払(1億3千5百万円)、前受金の減少(7千3百万円)賞与引当金の減少(4千2百万円)等により資金が減少したためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、5千6百万円(前年同四半期は5百万円の減少)となりました。これは有形固定資産の取得(3千5百万円)及び無形固定資産の取得(1千9百万円)等により資金が減少したためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、5千3百万円(前年同四半期は1億4千9百万円の減少)となりました。これは配当金の支払(5千3百万円)により資金が減少したためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年7月期の下半期につきましても、当連結会計年度のテーマである「売上高の拡大」をはじめ、事業領域ごとに策定した施策の実現に取り組むとともに、コスト統制に努め収益力の強化を図ってまいります。

通期の連結業績予想につきましては、平成23年9月2日付「平成23年7月期決算短信」にて公表しました数値に対し、繰延税金資産の一部取り崩し等による影響から、当期純利益、1株当たりの当期純利益予想額を変更しております。なお、売上高等、他の数値については変更ございません。

【連結】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想 (A)	11,800	640	650	370	102	87
今回発表予想 (B)	11,800	640	650	320	88	97
増減額 (B-A)	—	—	—	△50	—	—
増減率 (%)	—	—	—	△13.5	—	—
前期実績	11,186	685	701	400	111	44

【個別】

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想 (A)	11,500	600	340	94	54
今回発表予想 (B)	11,500	600	290	80	63
増減額 (B-A)	—	—	△50	—	—
増減率 (%)	—	—	△14.7	—	—
前期実績	10,857	663	380	105	79

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年1月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,838,398	2,606,319
受取手形及び売掛金	2,835,747	3,063,673
商品	22,448	26,148
仕掛品	50,788	72,271
原材料及び貯蔵品	3,495	2,986
繰延税金資産	187,030	165,232
その他	105,093	69,736
貸倒引当金	△1,697	△1,568
流動資産合計	6,041,303	6,004,799
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	279,512	277,703
工具、器具及び備品（純額）	75,046	74,072
土地	737,854	737,854
有形固定資産合計	1,092,412	1,089,630
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	61,872	60,119
敷金及び保証金	111,082	110,208
繰延税金資産	330,995	299,738
その他	20,935	21,040
貸倒引当金	△3,689	△3,359
投資その他の資産合計	521,197	487,747
固定資産合計	1,737,363	1,693,267
資産合計	7,778,666	7,698,067

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年1月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,551,051	1,527,413
短期借入金	310,000	310,000
未払金	186,958	144,730
未払費用	347,836	354,338
未払法人税等	151,336	126,007
前受金	1,133,562	1,060,219
賞与引当金	343,991	301,153
工事損失引当金	28	—
その他	103,362	118,796
流動負債合計	4,128,127	3,942,659
固定負債		
退職給付引当金	814,066	831,857
役員退職慰労引当金	14,966	16,457
長期未払金	10,252	10,252
負ののれん	651	488
固定負債合計	839,936	859,056
負債合計	4,968,063	4,801,715
純資産の部		
株主資本		
資本金	334,000	334,000
資本剰余金	300,080	300,080
利益剰余金	2,178,091	2,265,272
自己株式	△1,303	△1,303
株主資本合計	2,810,868	2,898,049
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△265	△1,697
その他の包括利益累計額合計	△265	△1,697
純資産合計	2,810,603	2,896,351
負債純資産合計	7,778,666	7,698,067

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月21日 至平成23年1月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月21日 至平成24年1月20日)
売上高	5,429,955	5,969,758
売上原価	3,746,058	4,296,308
売上総利益	1,683,896	1,673,450
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	6,510	7,715
給料及び手当	598,849	598,530
賞与引当金繰入額	146,100	149,276
退職給付費用	56,567	57,890
役員退職慰労引当金繰入額	1,536	1,491
福利厚生費	55,257	51,975
賃借料	56,589	55,123
減価償却費	31,698	37,707
その他	403,903	405,102
販売費及び一般管理費合計	1,357,013	1,364,813
営業利益	326,883	308,636
営業外収益		
受取利息	117	76
受取配当金	909	1,467
受取手数料	1,785	2,322
受取保険金	5,230	1,425
負ののれん償却額	162	162
その他	2,050	1,397
営業外収益合計	10,256	6,852
営業外費用		
支払利息	1,638	1,342
その他	337	272
営業外費用合計	1,975	1,614
経常利益	335,164	313,873
特別損失		
固定資産除却損	114	590
特別損失合計	114	590
税金等調整前四半期純利益	335,049	313,282
法人税、住民税及び事業税	118,486	118,342
法人税等調整額	26,433	53,811
法人税等合計	144,919	172,153
少数株主損益調整前四半期純利益	190,129	141,128
四半期純利益	190,129	141,128

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月21日 至平成23年1月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月21日 至平成24年1月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	190,129	141,128
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,886	△1,432
その他の包括利益合計	△1,886	△1,432
四半期包括利益	188,243	139,696
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	188,243	139,696
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月21日 至平成23年1月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月21日 至平成24年1月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	335,049	313,282
減価償却費	49,298	54,564
負ののれん償却額	△162	△162
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△496	△459
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△73,254	△42,837
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	33,385	17,791
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1,128	1,491
受取利息及び受取配当金	△1,027	△1,544
支払利息	1,638	1,342
受取保険金	△5,230	△1,425
固定資産除却損	114	590
売上債権の増減額 (△は増加)	758,660	△227,596
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△15,177	△24,674
仕入債務の増減額 (△は減少)	△336,486	△26,186
未払金の増減額 (△は減少)	△45,792	△28,728
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△2,482	△153
前受金の増減額 (△は減少)	△85,558	△73,342
その他	11,543	49,043
小計	622,892	10,995
利息及び配当金の受取額	1,303	1,816
利息の支払額	△1,696	△1,271
保険金の受取額	5,230	1,425
法人税等の支払額	△154,855	△135,007
営業活動によるキャッシュ・フロー	472,874	△122,040
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△21,658	△35,540
無形固定資産の取得による支出	△11,965	△19,506
投資有価証券の取得による支出	△712	△705
敷金及び保証金の差入による支出	△4,853	△376
敷金及び保証金の回収による収入	24,967	880
保険積立金の払戻による収入	9,745	—
その他	△573	△893
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,049	△56,141
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△57,500	—
長期借入金の返済による支出	△38,905	—
配当金の支払額	△53,526	△53,896
財務活動によるキャッシュ・フロー	△149,931	△53,896
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	317,892	△232,078
現金及び現金同等物の期首残高	2,034,101	2,838,398
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,351,994	2,606,319

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自平成23年7月21日 至平成24年1月20日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年7月21日 至平成23年1月20日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フィールド サポート事業	オフィス システム事業	ソフトウェア サポート事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,238,080	1,558,925	632,949	5,429,955	—	5,429,955
セグメント間の内部売上高 又は振替高	62,609	10,288	76,715	149,613	△149,613	—
計	3,300,690	1,569,213	709,664	5,579,568	△149,613	5,429,955
セグメント利益	290,273	14,612	21,997	326,883	—	326,883

(注) 1. 全ての営業費用は各報告セグメントに配賦しているため、セグメント利益の調整額はありません。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年7月21日 至平成24年1月20日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フィールド サポート事業	オフィス システム事業	ソフトウェア サポート事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,532,919	1,691,368	745,469	5,969,758	—	5,969,758
セグメント間の内部売上高 又は振替高	116,799	3,691	88,836	209,327	△209,327	—
計	3,649,719	1,695,059	834,306	6,179,085	△209,327	5,969,758
セグメント利益又は損失(△)	331,656	30,396	△53,417	308,636	—	308,636

(注) 1. 全ての営業費用は各報告セグメントに配賦しているため、セグメント利益の調整額はありません。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自平成23年7月21日 至平成24年1月20日）

該当事項はありません。